

## 事業報告書（令和元年度）

事業名 生まれてきた意味を胎内記憶で知り、自分らしく幸せに生き、互いを尊重し調和する健全な心が育まれる人間関係で世界平和の実現を。

団体名 いろは 邑 担当者名 笹治英昭

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

### 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

#### 活動内容 1

日 時：2019年9月23日（月）

場 所：オルガホール

参加対象者：一般

内 容：池川明講演会&絵本の朗読&コミュニケーション講演会  
添付チラシ参照のこと

### 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

未来を担う子ども達を、生き生きと自分の人生を生きぬく力と未来に希望を持てる子どもに育てることを目指す。そのように育てられた子ども達は笑顔あふれる日常を生きるようになり自己肯定感に満ちた大人へと成長し、平和で豊かな持続可能な社会が創造されていることでしょう。生まれてきた意味を自覚し現代を生き抜くために必要な知識や知恵を習得できるようになれば自己の存在価値を感じられる。そして、愛情が伝わる人間関係のもとに育てられた人はその心が失われず自己肯定感が育まれて、希望と勇気と自分を信じる力をもって幸せな未来と平和な社会づくりに貢献していく自立した慈しみ豊かな大人へと成長する。ゆえに、ESDの視点として生まれてきた意味を自覚できる胎内記憶と幸せに生きる知識と知恵と健全な人間関係を広めていくこと取り入れました。自尊心や自己肯定感が育まれて生き抜く知識と知恵を習得して成長した人々によって世界平和を実現し地球環境の保全をしていく真実と実証が、より多くの人たちに伝わり社会に広まるように努める中で、真実が伝わるように細やかな見直しをしました。

### 3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

胎内記憶と子どもたちへの愛と信頼が伝わる具体的な関わり方を知って、救われた親子、親子関係がよくなった、子育てに喜びを感じるようになったとの親、保育士、教師、等々の人たちから成果としての生の実証が聞けた。例えば、過保護、過干渉の自分の子育てに気づけて子どもへの関わり方が変わり親子関係がよくなった親子、苦痛だった子育てが幸せな子育てに変わった親達、虐待が止まった親、いじめ問題が解決した親子、引きこもりが改善された親子、孤独な子育てから解放された母達、子どもをコントロールしていたことに気づき、コントロール支配から解放された親子 他…たくさんの効果があり、親達

からの届く実証と喜びと感謝の声の数々。

そして、胎内記憶について知ると自分の生まれてきた意味がわかり、生きている価値に気づけ、愛が伝わりあうコミュニケーションを実践すると、子育て人育てや人との関わりが喜びになり、生きていく希望が湧き、自己肯定感が高まり、自尊心が育まれていく、青少年、大人の人達も多くいる。

一例として「子どものみならず人を信頼できるようになり、自分に自信が持てるようになり、私が私として生きていくことに価値と喜びを感じられるようになり、日々が幸せと感謝に満ちた人生を歩んでいます。」のような感想が続々と届いた。

また、胎内記憶を語る子ども達も多くいて大人達に気づきと幸せを与えてくれていた。

「学校教育だけに教育を依存するのではなく、現代社会を生き抜くために大切な学び、知識や知恵を大人も知ることができた」大人が向上心、挑戦心を持って学び続け勉強し続けることの大切さが深く理解できて今から実行しようとする人達から多くの賞賛、賛同、感謝の声が寄せられたESD活動が求めている成果として幸せに大人達が生き生きと輝けば子供達も生き生きと幸せに輝く質の高い教育を施したとして偉大な成果を残せた。

#### 4. 今後の課題と展望

【事業が、他の岡山地域の持続可能な社会づくりに貢献できる点、今後の展望を記入してください。】

##### ・展望として

日常、身近な人と、愛情が伝わると心を通い合わせて信頼関係を築き、対立や心に問題を抱えていない時に価値観を伝え合う、自己実現を支え合うなどの交流をし、社会貢献をしていき、対立が起きた時は双方共が納得、満足して解決していくような民主的で平和な人間関係を構築していくことが、ESDそのものであるという意識が伝わるようにESDの理念、目的に触れながら取り組んできた。また、命を尊ぶ、生まれてきた意味を人々が自覚できるような取り組みとして胎内記憶を伝え、現代を生き抜くために必要な知識や知恵を習得できるあり方やハウツーも提供し自尊心や自己肯定感が育まれていく愛情と信頼が伝わる人間関係が広まるように働きかけをしたので、世界平和の実現と地球環境の保全がより加速していく展望がある。日頃から愛と信頼の相互理解の人間関係を保っていくことがESDに繋がることであると、より具体的に伝わる形にしていくという視点で、ESD活動を行っているのは全国でもまれでこの事業が全国に周知されれば、愛と平和に満ちた健全な人間関係の普及ができ、持続可能な社会が創造されるという確かな展望ももち、コミュニケーション能力の欠如が起因する家庭・学校・社会で生きづらくなって起きる心の病・虐待・いじめ・引きこもり・自殺など深刻化される現代の日本の社会問題が解消できるよう今後も活動していく。

##### ・課題として

現在、日本社会では、コミュニケーション能力の欠如により自己肯定感が育まれず家庭・



学校・社会で生きづらくなり、生きがいを見いだせず、心の病・虐待・いじめ・引きこもり・自殺などの社会問題が多発し深刻化している。子ども達が自尊感情を感じられず自信を失い未来に希望が持てなくなり、持続可能な社会づくりへの意識が薄いまま成長するのではないかと危惧される。現在、持続可能な環境づくりを心掛けようとする意識の向上を人々に働きかける難しさがある。人間力、人間関係力の教育を学校教育のみに依存するには限界がある。

E S D活動を実際に行っている人たち、E S Dの普及活動をしている人たち、岡山市職員（E S D推進課）の人たちに参加していただくには、どのように工夫すればよいか、今回も参加がなかったのが今後の課題である。E S Dプロジェクト参加団体の人達に関心を持ってもらい積極的に多くの人に参加していただくことが今後の課題である。

人間関係が人格や人生の形成の基盤であり、社会の基盤でもあるという根本、人間関係が改善されると現代のあらゆる問題が解決することを多くの人に気付いてもらえるような活動を展開していく。

日本人らしいE S Dの活動を、岡山から世界へ向けて発信していく。

誰一人も取り残さないと持続可能な未来を築いていっていると確証できる実績を残す。



